

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会
2021 年度 第1回定例理事会議事録要旨

日 時：2021 年 2 月 17 日（水）18：00～20：30

場 所：滋賀医科大学 栄養治療部 教授室（WEB 会議システム「ZOOM」使用）

出席者：副理事長・理事長代行

：佐々木雅也

特任顧問：平井敏弘、平田公一

監 事：田妻 進、寺本房子、土岐 彰、比企直樹

理 事：飯島正平、石井良昌、犬飼道雄、遠藤陽子、小谷穰治、小山 諭、斎藤恵子
篠 聡子、清水孝宏、鈴木 裕、高増哲也、中瀬 一、鍋谷圭宏、野上哲史
二村昭彦、福島亮治、丸山道生、三原千恵、室井延之、山中英治、吉田貞夫
鷺澤尚宏

事務局幹事：伊藤彰博

顧問弁護士：大前由子、吉川景司、塚本 聡、實延俊宏

記 録：瀧田実隆（事務局）

欠 席 者：理 事：祖父江和哉

（敬称略：五十音順）

議 題:

I. 副理事長・理事長代行挨拶

はじめに今回の第1回定例理事会は前回の第2回臨時理事会に引き続き、佐々木副理事長・理事長代行が議長代行となり審議に入ることが承認された。議長は、本日の理事会は出席者が自身の画像を映し出すことを前提として WEB 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同様に意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続けて定款第5章第28条に則り、2021年度第1回定例理事会を開催することが宣言され、定款第5章第30条に則り、議長は副理事長・理事長代行が務め、議事録署名は定款第33条に則り、副理事長・理事長代行と出席した監事（田妻 進、寺本房子、土岐 彰、比企直樹各監事）となることが確認された。なお本会議に顧問弁護士が同席することが説明され、議事に入った。

II. 2021 年第2回臨時理事会議事録の確認について

前回理事会議事録が提出され承認された。特に「日本医学会への対応について」では当方の協議内容を具体的に明記した内容とすることが確認され、議事録署名手続きに入ることが報告された。

III. 庶務報告について

事務局より 2020 年 11 月 30 日時点の会員動向について、報告された。

名誉会員の足立香代子先生のご逝去（逝去日：2021 年 2 月 7 日）を受けて、黙祷が捧げられた。

■2020 年 11 月 30 日現在 ※宛先不明 41 名含む、休会 189 名・2020 年度末自動退会 830 名・

会員種別	2020 年 9 月 30 日	2020 年 11 月 30 日	増減
名誉会長	2 名	2 名	+0 名
名誉会員	44 名	44 名	±0 名
特別会員	54 名	54 名	±0 名
代議員	257 名	256 名	-1 名
学術評議員（代議員）	471 名	468 名	-3 名
正会員	22,159 名	21,283 名	-876 名

寄贈会員	8名	8名	±0名
総数	22,995名	22,115名	-880名

■職種別

医師	4,652名	管理栄養士	6,177名	言語聴覚士	607名
歯科医師	431名	栄養士	64名	歯科衛生士	116名
看護師	4,018名	臨床検査技師	663名	診療放射線技師	3名
准看護師	3名	理学療法士	444名	その他*	683名
薬剤師	4,126名	作業療法士	128名	合計	22,115名

■2020年分会費納入率 ※宛先不明・退会・自動退会含む

会員種別	納入者数	未納者数	会員数	納入率(2020年)
代議員	249名	7名	256名	97.27%
学術評議員	445名	23名	468名	95.09%
正会員	19,595名	1,688名	21,283名	92.07%
総数	20,289名	1,718名	22,007名	92.19%

IV. 理事選挙結果について

佐々木副理事長・理事長代行より、理事選挙結果について報告された。2020年11月告示、代議員255名に対して2021年1月18日(月)に理事選挙書類を発送し、2月5日(金)の消印有効を期日とし、理事選挙を実施した。2月10日に選挙管理委員会を開催し、学会事務局会議室で開票作業を行い、有効数216票、無効数16票、投票総数232票であったことが報告された。全体の投票率は93.1%であった。

■理事選挙当選者11名(理事立候補届出順・敬称略)

- ・任期2年2期：理事選挙当選者10名
 山中英治、三原千恵、比企直樹、高増哲也、石井良昌
 鍋谷圭宏、犬飼道雄、斎藤恵子、千葉正博、森みさ子
- ・任期2年1期：理事選挙当選者1名
 中瀬 一

以上の内容について、全会一致で承認された。第8回定時社員総会にて選挙結果を発表し、当選した選挙理事の選任を行う。なお選出された理事予定者が自身の得票数を確認したい場合は、事務局に連絡することが確認された。

V. 新理事長選挙について

2021年2月28日(日)の第8回定時社員総会では、当選理事結果報告に続き、定款施行細則における理事予定者会議における新理事長の選任と新副理事長、推薦理事の指名についての報告と、監事選任を含む役員選任を行う。理事予定者会議における新理事長の選考については、予め候補者は立てず、当日の会議で選任とすることを第1回臨時理事会(2020年12月10日開催)にて決定したが、緊急事態宣言もあり、理事予定者会議を集合型で開催することが困難な状況となった。そこで、第2回臨時理事会(2021年1月25日開催)で決定された方法に従い、新理事長の選任権限を有する理事予定者23名による事前投票を実施とした。開票は2月19日(金)18:00に学会事務局会議室で、土岐監事を立会人、実務担当者は事務局の中川氏として行うことになった。選出された理事長予定者より第8回定時社員総会当日までに推薦理事の指名を行い、本定時社員総会へ選任議案として提出する。なお19日(金)の選出結果については、後日事務局より理事予定者に対して連絡することが確認された。

VI. 監事の推薦について

佐々木副理事長・理事長代行より、定款第4章第16条に基づき、寺本房子監事、土岐 彰監事の2名が任期満了、また比企直樹監事が理事就任のため監事退任をすることとなるため、倉田なおみ氏、土岐祐一郎氏、花崎和弘氏の監事候補者3名をもって監事に選任したい旨を説明された。各候補者の任期分担については、年齢制限（定款施行細則第19条）を踏まえて3名とも再任できるよう、花崎和弘氏を比企監事の後任（任期2年）とすることが確認され、承認された。また、上記の任期分担については監事候補者に対して改めて説明することが確認された。

VII. 第8回定時社員総会について

COVID-19の拡大状況を鑑み、第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会（JSPEN2021）の会期を開催会場は変更せず、2021年7月21・22日に延期とした。これに伴い、2月17日に開催を予定した神戸ポートピアホテルでの第8回定時社員総会の開催日程・場所を下記のとおり変更した。なお、発言予定者となる会場に来られない理事については、新たにZOOMのURLを発行し参加・議事の報告をお願いすることとし、本ZOOM参加の場合には、会場参加でなくても発言権を有するため議決権も有し、会場参加と同等の権利を有することが確認された。また発言はないが閲覧をご希望の先生方（名誉会長・名誉会員・特別会員・代議員）は、限定したYouTubeのライブ配信形式で視聴を行うことが確認された。なお第8回定時社員総会については、前理事長についての調査報告なども予定されていることから、本会議に顧問弁護士、調査依頼弁護士が同席することが説明された。

■一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会 第8回定時社員総会

日 時：2021年2月28日（日）13：00～15：30

会 場：ホテル ポストンプラザ 草津 びわ湖 ケネディルーム

（滋賀県草津市草津駅西口ポストンスクエア内）

VIII. 第39回学術集会会長の選出について

第39回（次々々回）学術集会会長に、鷺澤尚宏理事が立候補され、選出された。

IX. 第36回学術集会について

鍋谷会長より会期変更に伴うお詫びと日程変更承認協力に対し、役員各位に謝辞が述べられた。本学術集会はハイブリッド開催になることが見込まれるため、聴講履歴が必要なセミナーや必修プログラムのログをどのように残すかが問題となることから、①会場参加の場合はバーコード、②オンライン受講の場合はライブ配信で流す画像、で聴講ログの管理をする案が提案され、理事会にて承認された。また今後、日病薬認定研修単位シールの代わりとなることも検討できるため、経費については収支を見て本部負担も検討することが確認された。

X. 第37回学術集会について

第37回（次回）学術集会飯島会長より、第37回学術集会（JSPEN2022）の会期について、COVID-19やインフルエンザなどの感染拡大時期である例年2月開催のリスクと第36回学術集会の7月延期に伴う時間的余裕を確保するため、会期を2022年5月31日（火）～6月1日（水）とし、ハイブリッド形式でパシフィコ横浜にて開催することが報告された。なお同議案は第8回定時社員総会に提出し正式な会期とする。

XI. 第38回学術集会について

第38回（次々回）学術集会小谷会長より、会期：2023年2月16日（木）～18日（土）として神戸国際会議場・国際展示場・ポートピアホテルにて開催することが報告された。

XII. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 審議事項

総務委員会(飯島理事)

- ・定款施行細則以外の休会申請状況について

2020年10月1日から11月30日の間にて、定款施行細則記載の理由以外での休会申請が10件あった。定款施行細則に定めた事由以外の休会申請は、個々事例を理事会にて諮る手続きとなるため、提出された対象者リストの休会申請内容を理事会にて確認し、今回の対象者の休会申請について承認された。

総務委員会 代議員・学術評議員選考 WG(野上理事)

- ・理事会推薦による代議員審査申請について
- ・学術評議員申請者の選考結果について

2020年12月10日～30日の期間にて、代議員・学術評議員選考WGを持ち回りで開催し、新規学術評議員候補者として44名を選考した。併せて、昨年からの新支部制度施行に伴う世話人資格のための学術評議員申請審査も実施した。また、理事会推薦による代議員審査申請3名についても確認を行った。なお同議案は第8回定時社員総会にて承認を行う。

規約委員会(石井理事)

- ・定款 第5条の変更について

現行定款 第5条において、本学会の目的に賛同して入会する者の資格記載において、NST 専門療法士受験資格と整合させるため「診療放射線技師」を含めた規定に変更することが承認された。なお同議案は第8回定時社員総会にて承認を行う。

【変更前】	【変更後】
第3章 会員及び社員 (会員) 第5条 この法人に次の正会員を置く。 栄養学に関する医療に従事する者で、原則として医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士等の資格を持つ者で、この法人の目的に賛同して入会した者。	第3章 会員及び社員 (会員) 第5条 この法人に次の正会員を置く。 栄養学に関する医療に従事する者で、原則として医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、 <u>診療放射線技師</u> 等の資格を持つ者で、この法人の目的に賛同して入会した者。

倫理・利益相反委員会(鷺澤理事)

- ・研究に関する倫理審査

本学会として「研究に関する倫理審査」について、学術研究団体であるため、対応できるような準備は必要との見解があり、本学会で研究に関する倫理審査を行う倫理審査委員会を倫理・利益相反委員会の下に新たに設置することが承認された。

専門能力開発委員会 薬剤師部会(二村理事)

- ・第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会(JSPEN2021)における日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位シール交付について

COVID-19 拡大に伴う日病薬病院薬学認定薬剤師制度の特例措置に従い、WEB 開催における日病

薬認定研修単位シールの交付のための運用方法について改めて薬剤師部会で検討し、WEB 参加者の取得についても検討したが、現地参加と WEB 参加の二重での申請を考えられるため、当初の予定通り、現地参加者のみを対象とした配布運用とすることで承認された。また希望される会員に研修単位シールを学会事務局より郵送することとしていたが、現在の事務局の体力を考え、再度対応方法については検討することが確認された。

認定・資格制度委員会(福島理事・三原理事)

・認定教育施設制度規則の制定について

本学会の認定教育施設制度に関する規定は、認定医・指導医制度規約と日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム専門療法士認定規程の中に一部規定として定められているが、40 時間研修のカリキュラムについても本学会ウェブサイトへの明記がない。また指導責任者の異動や退職に伴う臨床実地修練修了証明書や症例報告書の訂正において、受験申請者に負担がかかっていることから、運用指針となる認定教育施設制度規則案が出され、理事会にて確認された。なお本規則案は再度認定・資格制度委員会では協議し、規約委員会での審議を経て、次回理事会へ提出し、承認、規則の施行とすることが確認された。

NST 委員会(中瀬理事)

・2021 年 NST 稼働施設認定について

今年の NST 稼働施設認定審査について以下の報告がされ承認された。それに伴い、現在 1335 施設を NST 稼働施設認定していることを報告された。

(1)新規：申請 12 施設…合格 12 施設

(2)更新：申請施設数 104 施設…合格 99 施設、不合格 4 施設・辞退 1 施設

学術集会実践支援委員会(犬飼理事)

・2025 年 第 40 回学術集会開催地について

2021 年【第 36 回】(神戸)、2022 年【第 37 回】(横浜)、2023 年【第 38 回】(神戸)、2024 年【第 39 回】(横浜) 順での開催となるため、2025 年は関西地域での開催を優先し、以下の開催期間・開催地で進めていることが報告され、理事会にて承認された。

【開催期間・開催地(会場)】

開催期間：2025 年 2 月 13 日(木)～14 日(金)

開催地：神戸国際会議場・神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル

ガイドライン委員会(小谷副理事長)

・システムティックレビュー班メンバー選出について

5 月 20 日から 6 月 19 日の間に google form を使用してシステムティックレビュー班の公募を JSPEN 代議員、評議員およびその推薦者を対象に行い、以下のメンバーが承認された。なおメンバーについて、状況によっては再審議可能とすることが確認された。

術前栄養：

(委員) 郡 隆之、外山健二

(SR 班) 佐野彰彦、酒井 真、園井教裕、古屋智規

がんサバイバー：

(委員) 田妻 進、二村昭彦

(SR 班) 小野川靖二、脇山茂樹、前田圭介、松本英男

進行癌：

(委員) 金 成元、榎本佳子

XIII. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 報告事項

総務委員会(飯島理事)

- ・事務局体制と学会運営インフラ整備の改善について

現在事務局体制は、本学会の財産である各種情報の質的管理や、IT化に並行して膨大な紙ベース情報を集約整理し、自主管理をできるよう進めている。未だ至らない点は多々あるが2021年度からはさらなる充実を計画していることを報告された。また現在の会員管理システムは、多様な事業の対応に反して、システムメンテナンスにはじまり、IT技術の変化対応によりセキュリティ対応に比重が増しており、一部のシステムについては、自主管理では対応しきれない点も出てきていることから、先日の臨時理事会にて承認いただいた内容に沿い、次世代の会員システムの運用を見据えて、本学会と同じ事業規模の学会が利用しているシステムの導入を進めていることを報告された。

総務委員会 広報WG(吉田理事)

- ・2020年度の広報ワーキンググループの活動について

(1) JSPEN「Newsletter」発行业

学会会告なども含め、会員への連絡手段として、2020年1月にJSPEN「Newsletter」創刊号の発行を行い、年4回の発行を予定していたが、COVID-19拡大影響による対応事業の再編もあり、その後の発行を見合わせたことが報告された。

(2)「JSPEN メールニュース」配信事業

本学会の事業に関する最新情報を「JSPEN メールニュース」として月2回を基本配信として会員に対して一斉メール配信を行ったことを報告された。

(3) 学会ウェブサイト改訂に関する事業

学会名称の変更、支部会の再編、職種別部会の部会長メンバー変更などに伴い、学会ウェブサイトの継続的な改訂が必要であったため、学会ウェブサイト内を調査し、変更が必要な箇所を抽出するとともに、各支部長、部会長の挨拶などの原稿依頼を行い、学会ウェブサイトの改訂作業を進め、NST委員会WEBサイトの再構築のための提言などを関係委員会と連携し実施したことを報告された。

倫理・利益相反委員会(鷺澤理事)

- ・第1回倫理・利益相反委員会議事録

外国籍の方のCOI申告について、本学会の英語版COIスライドとクライテリアを新たに構築しており、現在ネイティブチェックを進めていることが報告された。

支部統括委員会(犬飼理事)

- ・支部規則と支部学術集会運営細則の制定について

2020年1月1日からの新支部制度施行に伴い、支部統括委員会・支部長・支部学術集会会長による合同会議を数回にわたり行い、支部規則および支部学術集会運営細則を制定し、学会ウェブサイトへ掲載したことが報告された。なお本規則類は、支部会運営上の基本方針を規定化したものであり、今後、運営・運用しながら、改正が必要な点を確認し反映・施行していくことが確認された。

- ・2021年度からの支部会体制と支部長について

2020年12月1日より下記の体制にて2021年度支部会活動がスタートしたことが確認された。2020年度決算より各支部会の期末資産を学会本部の資産と連結した会計処理に移行したことが

確認された。また、2021年度の事業計画および予算申請を依頼し、支部活動補助金に変わる活動助成金についても2021年度本学会予算案へ計上したことが報告された。新支部制度での支部世話人会においては、代議員と学術評議員が世話人を兼務することになるため、代議員・学術評議員選考WGの協力を得て、2019～2020年の2年間を限定として支部世話人兼任に伴う学術評議員申請制度を設け、理事会推薦による代議員申請制度、学術評議員申請制度を利用し、支部活動への継続的な協力をお願いしたことが報告された。なお第8回定時社員総会での承認後、2020年12月1日に遡り委嘱状を発行し、正式な就任をお願いすることが確認された。また、退任される世話人の方には、学会理事長名にてこれまでの支部世話人会でのご尽力と学術活動の功績に対して感謝状を贈呈することが確認された。

■2021年度支部会体制

- (1) 北海道支部：北海道
支部長：巽 博臣（札幌医科大学医学部）
- (2) 東北支部：青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
支部長：宮田 剛（東北大学大学院）
- (3) 関越支部：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県
支部長：増本 幸二（筑波大学附属病院）
鈴木 裕（代行）（国際医療福祉大学病院）
- (4) 首都圏支部：東京都、神奈川県、山梨県
支部長：鷺澤 尚宏（東邦大学医療センター大森病院）
- (5) 中部支部：富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
支部長：清水 敦哉（済生会 松阪総合病院）
- (6) 近畿支部：京都府、奈良県、大阪府、和歌山県、滋賀県、兵庫県
支部長：飯島 正平（大阪国際がんセンター）
- (7) 中国四国支部：鳥取県、島根県、山口県、広島県、岡山県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県
支部長：三原 千恵（日比野病院）
- (8) 九州支部：福岡県、熊本県、長崎県、大分県、佐賀県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
支部長：野上 哲史（熊本第一病院）

(敬称略)

・2021年度支部会スケジュールについて

2021年の支部会開催について、以下の日程にて各支部会を開催することを報告された。

支部学術集会名	支部学術集会会長 (敬称略)	開催日
第13回北海道支部学術集会	笠師久美子	2021年6月5日
第7回東北支部学術集会	亀井 尚	2021年9月4日
第8回関越支部学術集会	増本 幸二	2021年10月10日
第12回首都圏支部学術集会	比企 直樹	2021年5月15日
第15回中部支部学術集会	加藤 明彦	2021年8月21日
第13回近畿支部学術集会	西 理宏	2021年9月18日
第13回中国四国支部学術集会（中国）	寺本 房子	2021年8月28日
第14回中国四国支部学術集会（四国）	岡林 雄大	2021年9月25日
第12回九州支部学術集会	大脇 哲洋	2021年9月25日

・2021年度支部会における支部学術集会運営委託業者の選定について

支部学術集会運営について、共通のプラットフォームを構築し、年間を通して8支部会の学術

集会の運営ができることを条件に、運営会社のコンペティションを2020年12月26日(土)に開催し、応募された5社から2021年度の運営会社を以下の通りとしたことが報告された。なお、2021年度の開催において、既に別の運営会社を委託している場合には、これまでの準備対応も考慮し、変更なく依頼することができることとし、現時点で委託会社が決定していない支部には下記運営会社を選択し委託することができることを報告された。

■2021年度支部学術集会運営会社

株式会社 オフィス・テイクワン (愛知県名古屋市西区康生通 2-26)

・支部会ウェブサイトの変更について

支部会ウェブサイトについて以下の更新と変更を行ったことが報告された。

(1) 各支部会ウェブサイトのコンテンツ変更を行い、当該支部の世話人一覧として、各支部会所属領域における代議員と学術評議員を世話人として掲載し、第8回定時社員総会後には、承認された代議員・学術評議員を加え、新年度の世話人会名簿を整備する。

(2) 支部規則・支部学術集会運営細則の掲載

(3) 教育研修には、各支部から申請され承認された事業を掲載。

(4) 各県情報には、学会の認める学会・地方会・研究会など、認定クレジット単位として認められている研究会やセミナーなどの事業を支部長より依頼があった場合に掲載していく。

・支部運営に関する留意事項の制定について

本学会が組織する全国支部会の運営に関する留意事項を内部取扱資料として取りまとめたことが報告された。

・支部学術集会運営に関する留意事項の制定について

本学会が組織する全国支部会が主催する「支部学術集会運営に関する留意事項」を内部取扱資料として取りまとめたことが報告された。なお今後の運用過程での改善点などを反映し、施行していくことが確認された。

国際委員会(小谷理事)

・2020年国際学会の報告について

(1) ESPEN 2020 (The 42nd ESPEN Congress 2020)

2020年9月19日から22日の期間でリヨン(フランス)で開催予定であったが、COVID-19対策でオンライン開催に変更して行われたことが報告された。

(2) KSPEN 2020

KSPEN 2020でThe 19th Annual Congress of KSPEN & 2020 International Symposiumがオンラインにて行われたことが報告された。

(3) PENZA Congress 2020 (The 21st PENZA Congress)

2020年10月14日から16日の期間にてバンコク国際貿易展示場で開催予定であったが、2021年10月14日から16日の期間、同開催場所に延期になったと報告された。

・今後の国際学会の予定について

(1) ASPEN Nutrition Science & Practice Conference 2021

2021年3月20日から23日の期間にてコロラド会議場で開催予定であったが、COVID-19対策でオンライン開催に変更して行われることが報告された。

(2) The 49th Congress of the International Society of Surgery (ISS/SIC) - International Surgical Week ISW 2021 - the World's Congress of Surgery (世界外科学会議)の中の“国際外科代謝栄養学会 (IASMEN)”

2021年8月29日から9月2日の期間にて、マレーシアのクアラルンプールで開催予定であったが、2022年8月28日から9月1日年に延期されることが報告された。それに伴い2021年は8月30日から9月3日の期間でオンライン開催されることが報告された。

(3) PENSA Congress 2020 (The 21st PENSA Congress)

2021年10月14日から16日の期間にてバンコク国際貿易展示場で開催されることが報告された。

教育委員会 LLL WG(高増理事)

・LLL ワーキンググループの活動報告について

(1) LLL ライブコースの開催の見送り

LLL ライブコースは例年3月と8月にLLL ライブコースを開催していたが、COVID-19の影響により、2020年度の集合型での開催を見送ることとなったことが報告された。

(2) ESPEN WEBINAR-T-LLL course

final examination (最終試験) と T-LLL (講師資格の取得コース) が開催中止となり、JSPEN から T-LLL 参加応募も 2020 年は中止としたことが報告された。また 2021 年 1 月 22 日に ESPEN において WEBINAR-T-LLL course が開催されたことが報告された。JSPEN からは 10 名の受講希望があり、佐々木副理事長名で推薦状を発行したことを報告された。

(3) 指導医申請条件における LLL ライブコースの代替措置について

COVID-19 の影響により、2020 年度の LLL ライブコースが開催中止となったため、認定医、指導医、認定歯科医の新規申請要件となっている LLL live course 4 講座以上の受講については、LLL On line course も含めて 16 単位以上を取得していることで代替とすることとしたことを報告された。

(4) 2021 年度も LLL live course を集合型で行うことは当面困難であるため、WEB 開催を検討していることを報告された。

専門能力開発委員会 栄養士・管理栄養士部会(斎藤理事)

・栄養士・管理栄養士部会会議について

2020 年は以下のとおり部会を開催したことが報告された。

第 1 回：2020 年 1 月 11 日 (土) オンライン開催

第 2 回：2020 年 11 月 16 日 (月) オンライン開催

・栄養士・管理栄養士部会アドバンスコースの企画と開催について

2021 年 11 月開催として、テーマ：症例から学ぶリサーチクエスションと研究法(仮題)、目的：栄養管理の実践力向上とクリニカルクエスションを発表、論文に結び付ける力を身につける(仮)との開催概要の提案がされ、人選等は教育委員長と相談し進めていることが報告された。

認定・資格制度委員会(福島理事・三原理事)

・認定医・指導医の復活、再申請における申請区分の改定について

以下の通り改定規定を第 8 回定時社員総会に提出することが報告された。

■認定医・指導医制度規約施行細則

第 5 章 認定医・指導医の復活、再申請

第 15 条 第 17 条 4 項(制度規約)または第 25 条(制度規約)によって資格を喪失した者は、(略)行うものとする。ただし、事情により通常の認定医・指導医資格更新申請が行われな
い場合は、別途復活申請を行うものとする。

・認定医・指導医・認定歯科医の休会手続に伴う更新申請年の移行について

以下の通り改定規定を第 8 回定時社員総会に提出することが報告された。

■認定医・指導医制度規約

第 7 章 認定医の更新

第 19 条 認定医 5 年間で以下の 1~4 の各号をすべて満たす本学会会員の医師は認定医の更新申請を行うことができる。

(略)

5. 定款施行細則第 4 条による休会期間は認定期間に含めない。休会中に取得した単位や資格更新申請は認めない。これに伴う更新時期は休会期間相当分延長するものとする。

(略)

第 8 章 指導医の更新

第 20 条 指導医 5 年間で以下の 1~4 の各号をすべて満たす本学会会員の医師は指導医の更新申請を行うことができる。

(略)

4. 本学会学術集會に 3 回以上参加していること。うち 1 回は、本会学術集會時の指定研修プログラム* 1) か NST フォーラムへの参加または、JSPEN 栄養マスターコース受講を充てること
ことができる。

5. 定款施行細則第 4 条による休会期間は認定期間に含めない。休会中に取得した単位や資格更新申請は認めない。これに伴う更新時期は休会期間相当分延長するものとする。

(略)

- ・ 終身認定の指導責任者資格の付与と終身認定年齢の変更について

終身認定者も認定教育施設の指導責任者資格を有すること、終身認定を代議員定年に整合させ、満 66 歳に達した後に 3 月 31 日をもって認定医・指導医資格を終了し、4 月 1 日から終身認定とする規定に修正することが報告された。なお本議案は第 8 回定時社員総会にて提出する。

■認定医・指導医制度規約施行細則

第 9 章 認定医・指導医の認定証（更新）

第 21 条 認定医・指導医の更新を希望するものにあつては、本人から送付された更新に必要な所定の申請書類によって審査した後、認定更新料の納入を確認し認定証を交付する。認定医認定更新料は 10,000 円とする。指導医認定更新料は 10,000 円とする。認定医・指導医の認定更新は平成 28 年度以降に毎年 1 回行う。尚、認定期間中に満 66 歳に達した 3 月 31 日をもって認定医・指導医資格は満了とし、終身認定に移行する。なお、終身認定者は認定教育施設における指導責任者資格を継続できるものとする。申請書類は本学会ウェブサイト (<https://www.jspen.or.jp>) よりダウンロードして使用すること。

■認定歯科医制度規約改定案

第 7 章 認定歯科医の更新

第 14 条 認定歯科医 5 年間で以下の 1~4 の各号をすべて満たす本学会会員の歯科医師は認定歯科医の更新申請を行うことができる。

(略)

3. 本学会学術集會に 3 回以上参加していること。うち 1 回は、本会学術集會時の指定研修プログラム* 1) か NST フォーラムへの参加または、JSPEN 栄養マスターコース受講を充てること
ことができる。

4. 定款施行細則第 4 条による休会期間は認定期間に含めない。休会中に取得した単位や資格更新申請は認めない。これに伴う更新時期は休会期間相当分延長するものとする。

(略)

付則：

8. 本認定規則は令和 2 年 2 月 26 日より施行する。

9. 本認定規則は令和 3 年 2 月 28 日より施行する。

- ・ 認定教育施設に関する「認定医」常勤定義の再確認について

■栄養サポートチーム専門療法士認定規程

第 4 章 認定教育施設の認定

第 16 条 認定教育施設の認定は以下の(1)、(2)、(3)、(4)の各号総てを満たすことを要す。

・・・

(3)本学会「認定医」が当該施設で NST スタッフとして勤務していること(回診等のチー

ム活動に参加していない場合も認める)。

- ・「指導者」から「指導責任者」への表記の統一について
臨床実地修練修了証明証には、本規程における「指導責任者」と規定しているため、当該規程条文（規程：第18条・第19条・第20条、施行細則：第3章記載、第3条）における「指導者」は「指導責任者」として、本認定規程および認定規程施行細則内の記載を定文脈上「認定医」と規定されている場合を除き統一することで規程を統一したことを報告された。
- ・NST 専門療法士資格更新者で不合格者への対応について
■栄養サポートチーム専門療法士認定規程施行細則
第4章 NST 専門療法士の資格更新
第8条 資格更新申請には、**更新審査認定料**として10,000円とする。**更新条件に合致せずに更新できなかった場合、返金は行わない。**

NST 委員会(中瀬理事)

- ・2021年 NST 稼働施設認定審査について
今年の NST 稼働施設認定審査について以下の報告がされ承認された。
(1)新規：申請12施設…合格12施設
(2)更新：申請施設数104施設…合格99施設、不合格4施設・辞退1施設
- ・NST 委員会新ウェブサイトへの移行について
2020年12月28日をもって NST 委員会ウェブサイトの本学会ウェブサイトへ一元化したことを報告された。それに伴い、NST 活動のデータ収集や検索性、今後各種申請の電子化、確実性の向上を目指すことが報告された。
- ・第36回学術集会 NST フォーラムについて
第36回学術集会から NST 稼働施設認定更新時のクレジット制が始まる。NST フォーラム参加クレジットの登録方法を以下のとおり確定したことが報告された。
① 会場参加の場合は、名簿に記載されている NST メンバーのいずれか一人の参加で問題なく、参加証に記載されている QR コードを NST フォーラム会場の入退室時に記録することで参加を確認する。後日配信されたメールとともに参加証に記載のある参加証明コードと施設調査票への記入、提出をもって参加登録となる。
② WEB 参加の場合は、名簿に記載されている NST メンバーのいずれか一人の参加で問題なく、視聴記録をもって参加確認する。後日配信されたメールとともに参加証に記載のある参加証明コードと施設調査票への記入、提出をもって参加登録とする。
また第36回学術集会の NST フォーラム「NST のこれまで・今・これから」で予定されていた一部講演を変更し、司会の土岐 彰先生のご講演と NST 委員会からの2019年に調査した NST 稼働施設に対するアンケート報告を行うこととしたことを報告された。

編集委員会(佐々木副理事長・理事長代行)

- ・「学会誌 JSPEN」年度別掲載状況について (2021年1月13日現在)
■e-journal 「学会誌 JSPEN」

年度	No	原著	症例報告	総説	臨床経験	施設報告	研究報告	地方会抄録	用語解説	学会からの報告	計
2019	1	18	14	0	2	3	2	30	3	3	75
2020	2	19	12	2	0	5	4	10	2	2	56

※2020年度は COVID-19 の影響により地方会開催が制限されたことと、第34回学術集会で座長推薦ができなかったことで抄録掲載数が減少したことを報告された。

- ・「学会誌 JSPEN」投稿状況について（2021年1月13日現在）

年度	採択	不採択	著者修正中	取り下げ	査読中	投稿数
2019	52	11	2	15	2	82
2020	19	13	22	6	2	62
合計	71	24	24	21	4	144

- ・論文投稿から採択までの日数について（2021年1月13日現在）

年度	採択	最短日数	最長日数	採択までの平均日数
2019	52	26	601	192
2020	19	42	298	174

採択決定後、6カ月以内に掲載している。

- ・「学会誌 JSPEN」J-STAGE 公開状況について（2021年1月13日現在）

Vol. 1 No. 3	2020年2月5日 公開	Vol. 1 No. 4	2020年6月15日 公開
Vol. 2 No. 1	2020年9月13日 公開	Vol. 2 No. 2	2020年11月27日 公開
Vol. 2 Sup. 1	2020年11月11日 公開		

※学会 WEB サイトにて公開後 6 カ月が経過した学会誌から J-STAGE にて一般公開される。

※Sup. 1 は第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会抄録を収録した増刊号となる。

- ・座長推薦論文について

第 34 回学会学術集会にて当該演題の座長より推薦いただいた 72 件の推薦演題に対して、11 本の論文が投稿され、8 本が査読を経て採択となった。

第 35 回学術集会は、COVID-19 の影響により紙面開催となったため座長推薦論文については見送りとなった。

- ・ANNALS OF NUTRITION AND METABOLISM (ANM 誌) について

本学会の official journal として 2017 年 10 月より本学会 WEB サイトにて会員専用ページ経由で同誌の閲覧が開始されている。2020 年度は COVID-19 の影響もあったが、無事に刊行された。2021 年度も引き続き本学会の official journal として刊行される予定である。

- ・代議員への査読者登録情報見直し依頼について

全代議員に対して登録情報の見直しを依頼し、118 名の先生に登録情報の更新をいただいたが、全体における 50% 程度とのことで、第 8 回定時社員総会時に再度依頼をすることを報告された。

- ・学術評議員への査読者登録依頼について

査読依頼の間口を広げるために、全学術評議員に対して Editorial Manager への査読者登録依頼をしたところ、有志として 38 名の先生の新規登録があった。

- ・優秀査読委員受賞者選定について

優秀査読者賞受賞者選定に際し編集委員会にて、厳選な審査の結果、以下の通り受賞者を決定した。総会・学術評議員会時に氏名を発表し、後ほど事務局より記念品をお送りすることとする。

井田 智（がん研有明病院 消化器外科）

巨島 文子（諏訪赤十字病院 リハビリテーション部）

寺島 秀夫（CUC Inc.）

（敬称略）

用語委員会（中瀬理事）

- ・用語解説論文執筆状況について

①「学会誌 JSPEN」に掲載済

「経皮経食道胃管挿入術」（No. 2 Vol. 1）大石英人先生（用語委員）

「3号液」(No. 2V o1.5) 杉山彰英先生(用語委員)

②執筆が終了し査読中

「悪液質」日下部俊朗先生(用語委員)

「抗酸化物質としてのカテキン」杉山彰英先生(用語委員)

「フレイル」葛谷雅文先生(名古屋大学) ※2021年2月15日採択

③著者執筆中

「嚙下りハビリテーション」津田豪太先生(用語委員)

「リフィーディング症候群」深柄和彦先生(東京大学)

「Lカルニチン」曹英樹先生(川崎医科大学)

・用語解説論文候補用語の選定方法について

用語解説論文候補用語は、用語委員会各委員からの提案により取り決めているが、現在決定済みの候補用語の執筆が完了しつつあるため、これまで候補となった用語一覧を参考に新たな候補用語を各委員より募る予定であることを報告された。また、今後幅広く用語解説論文を執筆するため、一般に関心が高い用語の傾向をつかむことを目的に、本学会会員にアンケート実施を検討していることを報告された。

・用語解説論文執筆者について

用語委員会での新規事業を視野に入れ、委員外への執筆依頼を行ったことを報告された。今後委員外に執筆依頼する際は、候補用語を提案した用語委員が著者の選定から執筆、投稿までのマネジメント担当を担う予定である。

・用語解説論文共著者の記載について

用語解説論文には共著者として用語委員全員の名前が記載されているが、オーサーシップの観点から、共著者には名前を記載せず、「用語委員会」として記載を追記する方向で検討していることを報告された。

・用語解説論文投稿規程に関して

「学会誌 JSPEN 論文投稿規程」には用語解説論文に対応した項目が記載されておらず、「その他」の論文種別に対する規程を読み替えて執筆を行っているが、要旨の有無や文字数制限などにおいて実際の用語解説論文の様式に即していない。そのため、用語解説論文に関する書式を定義した内規案を作成し、委員会内で検討の上、編集委員会に提案することを進めていることを報告された。

・用語委員会新規事業について

論文作成などの際に参照し、正確な用語の表記や用法を推進することを目的として、一覧の中から用語をクリックすると当該用語が使われている学会誌にリンクする、索引のような形式の「JSPEN 用語集」の作成を検討していることを報告された。

学術集会実践支援委員会(犬飼理事)

・2020年度活動報告について

- (1) 総務委員会、規約委員会、倫理・利益相反委員会、支部統括委員会、将来構想委員会と連携し行った、本会の年次学術集会・支部学術集会に関する調査内容をベースとして、学術集会運営細則の制定と学術集会運営に関する留意事項の作成を進めていることを報告された。
- (2) また、2020年度第3回定例理事会にて承認された学術集会運営細則の本学会ウェブサイトへの掲載を進めており、今後、同運営細則に沿って運営しながら、必要な内容は規定に反映しつつ進めていくことを報告された。
- (3) 第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会(小谷穰治会長)のコンベンション選定のための説明会を2020年10月29日に開催し、2021年1月22日には、2023年第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会および同時開催の教育セミナーの運営ができることを条件に、オンライ

ンによる第38回学術集会コンベンションを開催し各企業の強みや実績、新しい提案等を重視し、運営会社を選定した。

■第38回学術集会運営委託先コンペティション

日本コンベンションサービス 株式会社

(東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階)

- (4) 学術集会でのIRBに関する周知及び教育については、倫理・利益相反委員会と連携しつつ、第36回学術集会の演題募集から倫理に関するチェック項目を新設しての演題募集を開始した。推奨される倫理審査基準に基づく演題登録体制には数年の移行教育期間を定め進めていくが、発表者への倫理に関する理解が重要となるため、各学術集会会長へのご理解・ご協力のもと、第36回(JSPEN 2021)・第37回(JSPEN 2022)・第38回(JSPEN 2023)学術集会では、倫理に触れるセッションの設置などの検討を進めた。

学術集会実践支援委員会 記念AWARD選考WG(山中理事)

- ・大柳治正記念学術振興アワード選考について

選考委員会選考基準に従い、受賞者と1名の関連講演者を決定した。第36回学術集会において、受賞講演および関連講演を行う。

受賞者：馬場 忠雄(医療法人友仁会 友仁山崎病院、名誉会員)

演題名：腸の病態と脂肪酸との関連を探る

関連講演者：佐々木 雅也(滋賀医科大学医学部看護学科基礎看護学講座、副理事長・理事長代行)

演題名：食物繊維の生理作用と栄養療法における位置付け

(敬称略)

- ・小越章平記念 Best Paper in The Year 選考委員会 2020年選考結果について

選考委員会選考基準に従い、下記の受賞論文を決定した。第36回学術集会の受賞者記念講演において、発表いただく予定である。

受賞者：小林 実(東北大学病院 総合外科)

掲載誌：International Journal of Clinical Oncology 25: 1814-1821, 2020

論文タイトル：Protective effect of the oral administration of cystine and theanine on oxaliplatin-induced peripheral neuropathy: a pilot randomized trial

(敬称略)

学術集会実践支援委員会 学術AWARD選考WG(鈴木理事)

- ・JSPEN YOUNG DOCTORS AWARD 2021の選考について

2020年9月1日～同年9月30日(消印有効)を締め切りとして応募を行ったが、COVID-19の影響もあり応募申請はなかったことを報告された。

- ・YOUNG INVESTIGATOR AWARD 2021の選考について

2020年9月1日～同年9月30日(消印有効)を締め切りとして応募を行い、1名からの応募があったが、過去に受賞歴のある方であったため、申請資格の点で今回は、受賞者対象者はなしとしたことを報告された。

- ・JSPEN スカラーシップ賞 2020 受賞者について

2020年9月1日～9月30日までの募集期間において1名からの応募があり、選考に際し学術AWARD選考WGを開催し、審査し本賞の受賞を決定したことを報告された。

受賞者：田中 明紀子(和歌山県立医科大学附属病院 病態栄養治療部)

タイトル：肥満患者における減量過程による味覚変化に対する前向きコホート研究

(敬称略)

学術集会実践支援委員会 フェローシップ選考WG(三原理事)

- ・フェローシップ賞受賞者選定について

第35回学術集会応募者セッションはCOVID-19の影響により中止となり、発表予定スライドでの審議にて厳選な審査の結果、以下の1名を受賞者として選定した。本年の第36回学術集会の総会・学術評議員会後の表彰式にて表彰する予定である。

受賞者：岸 宗佑（イムス札幌消化器中央総合病院 消化器内科 VADセンター長）

演題名：内頸静脈穿刺およびCVポート手術の合併症予防のための正しい頸部解剖の理解と新たな穿刺経路の探索について

また、第36回学術集会では演題公募に際して、本賞への応募を希望した6題から抄録にて5名を選考し、7月に移行した第36回学術集会時に判定会議を開催し、翌日の2021年度総会・学術評議員会にて最終選考者を発表することを報告された。

(敬称略)

ガイドライン委員会(小谷理事)

- ・GRADE および Narrative で行うテーマについて

「術前栄養について(未確定)」、「がん survivors への栄養療法」、「Refractory (がんの治療(3rdのケモなど)に不応性の患者) への栄養療法」の3つのCQをGRADEで行うテーマとしていることを報告された。

また Narrative のテーマについては、総論、外科領域、放射線領域、固形癌に対する化学療法、固形癌以外の化学療法、Advanced cancer と現在50%程度完成しており、相互査読を行う段階にあることが報告された。

臨床栄養コンセンサス検討委員会 9領域WT(犬飼理事)

- ・2020年度活動報告について

9領域の現状の活動内容について報告がされた。

P001 REDCap プロジェクト(飯島理事)

- ・在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関する EDC を用いた症例登録型データベース構築事業について

COVID-19により症例集積の遅れが発生しているが、現在プロジェクト調査協力施設として13施設、19症例がデータベースに登録と順調に増えている。共有や算定に対する質問が多いことから、制度の普及にはハードルがあるが、引き続き啓発をしていくことを報告された。

P002 地域連携推進プロジェクト(犬飼理事)

- ・2020年度活動報告について

「在宅医療」「地域医療」をキーワードとして、学術団体としての地域連携のあり方、連携推進の実現に向けて意見交換を行った。引き続き、地域包括ケアシステムとリンクした栄養管理や栄養療法の重要性を医療従事者だけでなく患者・家族にもご理解いただくための活動について検討していくことを報告された。

P003 誤接続防止対策プロジェクト(丸山理事)

- ・ISO 80369-3 のミキサー食注入に関する問題について

既存広口タイプ誤接続防止コネクタの存続に関する要望について、日本重症心身障害学会、日本重症心身障害福祉協議会、全国重症心身障害児(者)を守る会の連名で「経腸栄養分野での既存広口タイプ誤接続防止コネクタの存続に関する要望」が昨年12月に厚生労働省に提出されたことが報告された。今後は協力要請に応じて対応していくことが報告された。

P004 新ハンドブック作成プロジェクト(佐々木副理事長・理事長代行)

- ・「日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブック」の発刊について

本来 2021 年 2 月の学術集会時に発売を目指していたが、内容確認に時間を要したため 2021 年 4 月 1 日に完成、2021 年 4 月 1 日発刊予定で現在最終作業に入っていることを報告された。

P005 新医師・歯科医師セミナープロジェクト(福島理事)

- ・2020 年度活動報告について

TNT 研修会が 2020 年で終了となり、新たに医師の 10 時間研修(セミナー)の立ち上げのため、医師・歯科医師セミナーワーキンググループと共同で新セミナーのプログラムを作成した。新テキスト(監修:福島 亮治)および新講義については、日本外科代謝栄養学会、第 57 回日本外科代謝栄養学会学術集会のご協力を得て、NST 医師教育セミナー(オンラインセミナー)にて 2020 年 12 月 25 日～26 日の期間で開催されたことを報告された。なお 2021 年は、新医師・歯科医師セミナーとして数回の開催を予定している。

P006 GLIM2 プロジェクト(吉田理事)

- ・2020 年度活動報告について

2018 年に世界規模での低栄養の診断基準 GLIM ができたが、今後地域差がある BMI と評価法をどの分野を扱うかを、引き続き本プロジェクトで検証し、GLIM2 作成のための情報収集の準備を進める。

P008 在宅栄養推進プロジェクト(鈴木理事)

- ・2020 年度活動報告について

現在、在宅静脈栄養管理、経腸栄養管理に関する代表的なエビデンスが本邦に存在しないため、本学会にて在宅での栄養管理法の見直しを実施し、その有効性と経済性を再評価し、さらに実際の管理法の合理化を目指す。メンバーの選定も含めて 2021 年度以降の活動方針について検討を行っていくことを報告された。

P009 COVID-19 対策プロジェクト(佐々木副理事長・理事長代行)

- ・2020 年度活動報告について

世界中から発信されている最新の情報とこれまでに集積してきた代謝栄養学的知見から COVID-19 に対する治療と予防に関する栄養学的アプローチについて本学会から提言を出したことを報告された。

P010 オンラインセミナー構築プロジェクト

- ・2020 年度活動報告について

来年以後に複数年使用可能な「NST 専門療法士受験必須セミナー」のテキストならびにオンライン講義ビデオの作成と運用を検討することを目的とし、P 010: オンラインセミナー構築プロジェクトの立ち上げが理事会にて承認された。立ち上げメンバーとして、鍋谷圭宏、佐々木雅也、飯島正平、犬飼道雄、斎藤恵子、篠 聡子、二村昭彦各理事構成とした。オンラインセミナーの企画構成については全体のセッションを二つに分けて作成する構成方針が確認された。

XIV. 「胃瘻に係わる死亡事例」提言書へのご所属学会記載に関するお願いについて

医療事故調査・支援センター(日本医療安全調査機構)より「胃瘻に係わる死亡事例」専門分析部会の部会長である鷺澤先生の所属学会を本学会とする依頼状が届いた。本件は理事会での確認に基づき、承諾として返信することが確認された。

XV. JDDW2021 メディカルスタッフプログラム広報活動へのご協力について

日本消化器関連学会機構より「メディカルスタッフプログラム」広報活動への協力依頼あり、ウェブサイトに掲載等の方法で協力することが承認された。

XVI. 日本医学会 学会名称の件

日本医学会から2020年12月9日付けで届いた、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会、日本臨床栄養代謝学会の各理事長宛の書面について、2021年1月25日付けで回答書を送付した旨を報告された。なお同内容は第8回定時社員総会でも改めて報告する。

XVII. その他

前回理事会にて報告された東口理事長への調査について、現時点の状況が報告された。

○2021年度第1回定例理事会以降のスケジュールについて

理事予定者による副理事長、推薦理事3名の指名を受けて、2021年2月22日の週、もしくは社員総会開催までに理事予定者会議をオンラインにて開催予定であることが報告された。

■第8回定時社員総会

日 時：2021年2月28日（日）13：00～15：30

会 場：ホテル ポストプラザ 草津 びわ湖 ケネディールーム（WEB会議システム「ZOOM」使用）

■2021年度第2回定例理事会（新理事会）

日 時：2021年2月28日（日）15：30～

形 式：オンライン会議（WEB会議システム「ZOOM」使用）

以 上

2021年2月17日（水）